報　告　事　項

No.

報告先	原田副会長	報告者	竹岡
日　時	52年 10月 21日 金曜日	時	分

報告・決裁

経過について.

本年1月より詫び状をとった坊主は以下の通りです.

1月20日, 27日	菅野寛道
1月28日, 29日	松本珠道
2月6日, 7日	坂井進道
2月12日, 14日	栗林開道
2月16日	水野顕道
2月22日	高見求道
3月12日	西本暁道
2月14日	中村福道
8月3日	玉沢研淨

. 年 月 日

件名	菅野憲道の件 ①
日時	52年 1月 20日 16時 50分～22時 20分
場所	学会本部2F第6応接.
担当者	[学会側] 辻FKR 原青. 野男. 松山奇総B長 (勝浦本部) [宗門側] 阿部教学部長. 菅野.
概要	・食事(うなぎ) しばし懇談の後 ・菅野 お詫び状を読み上げる - ・菅野にわびる姿勢がまったくなく. 青. 男で てっぺ的に破折. ・「御借の信念に基ずいて書いた」と菅野. ・「詫び状が対決がといわれて. それなら詫び状の 方がよいと思い 詫び状をもってきた」 ・本わびる姿勢がまったくない. 創価学会としては. この 詫び状は受けとれない. とつまかえす。本人らをなおる.
~~指示事項~~	・土下座にておやまり. ・阿部「憲道も㊤の弟子ですから是非土下座だけは…」 ・舎衛の三億について菅野を追及. 菅野「あれは激励のために㊤がいわれた」
~~関連事項~~	・日蓮正宗の血脈相承について. 令法久住について. ・猊下に師敵対する更借として徹底的に破す. ・菅野の私生活についても指摘.
関連資料	・テープ. ・記録 菅野憲道の件 ① ・富士学報5号. 菅野論文. ・千葉. 松山奇総B長報告.

				担当	

12

年　月　日

件　名	菅野憲道の件.(2)
日　時	52年 1 月 27 日 16 時 45 分～21 時 30 分
場　所	学会本部2F 第6応接室
担当者	[学会側] 北条理事長.辻副会長.(八矢.田中.上原) [宗門側] 早瀬総監.阿部教学部長.菅野憲道.
概　要	前回ワビ状をもってきたが.菅野にわびる姿勢がないためワビ状をつきかえした。 今回は、本当のワビ状をもってくるということでした。 理事長から菅野に指導があり.後に.婦人3人以.全国の具体例をあげてその改善を要求. 先に菅野をかえし.北条.辻.早瀬.阿部で懇談. CPよりの伝言を伝える.
指示事項	
関連事項	
関連資料	テープ. 記全. 後30分は別保管.

			担当	

年　月　日

件　名	松本珠道の件 ①
日　時	52年 1月28日 16時45分～18時45分
場　所	学会本部2F 第6応接
担当者	[学会側] 北条理事長. 秋谷. 山崎副会長 [宗門側] 早瀬総監. 阿部. 松本珠道.
概　要	・27日 北条理より (ケ) への伝言があった その答え. 総監よりある ・松本 リご [redacted] る。 ・北条. 秋谷より 論文の一つ一つのあやまりを指てき. (竜松本 先に帰す.) ・北条より 早瀬. 阿部の活躍を期待する旨 要望.
~~指示事項~~	・リご私は (S) へ より. 阿部教学部長へ提出する方がよいのでは. というこで. 松本 → 阿部へ. そのうえを (S) にもっていくことになる。
関連事項	
関連資料	テープ. 記録.

			担当	

17

年　月　日

件　名	松本珠道の件 (2)
日　時	52年 1月29日前11時20分～12時5分
場　所	学会本部2F 第6応接室
担当者	〔学会側〕 北条・辻 〔宗門側〕 早瀬・松本珠道
概　要	・松本→阿部(教)へのワビ状のうつし 松本よむ。 ・謝文は逸脱などではなく大謗法で ある旨 北条→松本へ。 ・松本 下の車でまわせて。 ・北条・早瀬 妙観会の実態について。 とくに早瀬・阿部からよくお導するよう要望
指示事項	早瀬…「まわりも視野が狭かった。 妙観会は私達もうがみない。 (ヂ)もよけいなことするなという。
関連事項	そういう形でした。 宗務院で何かいうと、「よけいな事を」と (ヂ)は言われる。言えないことがありまして。」
関連資料	北条…「(ヒ)の系でからといって やりかたでは ではいけません」 早瀬「(ヒ)の系であろうと、でれの系であろうと 今後はキチッと教えこみます」。

担

18 テープ・記録。

年　月　日

件　名	坂井進道の件 ①
日　時	52年 2月 6日 15時15分～18時35分
場　所	熊谷 法泉寺
担当者	(学会側) 原青. 野男. 竹入早長. 新井(正). 中村(功) (宗内側) 坂井進道.
概　要	① (M)についての言動をたずす. ※ ② 中の女性問題の言動をまつ向. ワビ状をとる. ③ 近日中に池田先生あての今後の決意書を持参することを約束. 2月13日のお講で参加者にワビることを約束.
指示事項	
関連事項	※戸田先生誕生記念 熊谷本部幹部会 18:00～20:30 井上宅. (男)(青)より経過の報告. ※進道と交流のある③宮坂青会 22:00～23:00 小林宅 (来 栗原. 良崎. 森田. 寺山. 重光. 村瀬 稲葉. 小林)
関連資料	会談テープ 6本.

				担当	

19

年　月　日

件　名	坂井進道の件 ②
日　時	5R年 2月 7日 19時10分～20時15分
場　所	創価学会本部 2F 第6応接室
担当者	学会側 秋谷副会長、原田青年部長 宗門側 坂井進道。
概　要	前日6日のワビ状に加え、池田先生に対する決意書を持参。 学会批判や会長批判をやめ、 今後はよく学会、会長を理解し、 信者を大切にすることを約束。 （食事出す 天ぷら）
指示事項	
関連事項	池田会長批判を坂井から聞いてなやんでいる人に対し、坂井自らわびるので名前をおしえてもらいたいとの望あり。（青）OK、おって知らせるとのこと。要
関連資料	会談内容 ― 坂井進道の件② テープ 2本。

			担当	竹岡

年　月　日

件　名	栗林南道の件 ①
日　時	52年 2月 12日 13時30分～23時30分
場　所	福井文化会館 3F和室
担当者	(学会側) ㊑ ㊒ 中村(康) 橋本 福井青年部長 (宇内側) 栗林南道 (法珠寺 住職)
概　要	8時間にわたる会談。cp 1cc判。⑤ 1cc判。一つ一つについて ことごとく否認。 ⑤幹部は成仏していない件については 証人2人を立ち会わせ、ようやく認める。 成仏の件 詫び状を書く。 その他の件 結着つかず。 再度本部にて会談の含み。
指示事項	宮本、竹岡、井山で 一日 福井に残り。 事情聴取、証取~がため、(㊑㊒より)
関連事項	・6:30より 4者説明会。 ・20:50より 富、㊑㊒ 会見、富 決意書。
関連資料	テープ。 詫び状。 決意書。

				担当	

2/

年　月　日

件　名	栗林南道の件②
日　時	52年12月14日　3時10分～9時30分
場　所	本部別館2F青春の間
担当者	(学会側) ㊂㊁井上(弁)、和田(公) 最後に秋谷所長 (宗門側) 栗林南道
概　要	13日朝より お講を所化にまかせて 総本山へ南道行く。 詫び状をもって本部へ。 約7日半間にわたり、松村氏の証言をもとに 一一について、cp.1cc判 ③1cc判をとい ただす。始めはにげようとしたがついには ほとんどを認める。
指示事項	食事をとり、秋谷副会長最後にしめる。
関連事項	・松村夫妻、偽証のため14日正午本部着。 ・別館1Fで待期。
関連資料	テープ　詫び状。

				担当	

年　月　日

件　名	水野顕道の件
日　時	57年 2月 16日 12時35分～　時　分
場　所	本部別館青春の間.
担当者	(学会側) (青)(男) 大橋九州男. (宗門側) 水野顕道(海王寺住職)
概　要	徳島における学会批判を一つ一つ破折. 「これまでの私の考えは本当にまちがっていた」と すなおに詫びる. ・猊下本仏論、松本珠道に関連してみなお ・会長に帰命する＝会長本仏論とする考えは あやまり と認める。池田会長に帰命してなんら問題 はない、当然のことです。 ①の邪義論を全面的に認める.
指示事項	・藤田女子部長の話. ・慈言. 一枚目会長批判にみに徹底的に追求 「今後は口がさけてもいいません。宗門の中において、こんなことをいう僧がいたら斗います」
関連事項	辻副会長、福島副会長、藤田女子部長へのわびの手紙 3月13日のお詫びで代えにかかる件 約束. ・池田先生あての わび状を書き、よみあげる。
関連資料	

				担当	

高見求道の件.

52. 2. 22. 10:00. ～12:30.

本部別館 青春の宿

5側. ㊙ ㊐. ㊎. 千葉.福島県長.

4側. 高見求道

㊎. 及び㊍に対する二次までの言動について糾す.

記憶が朽て持参してきたものの. 再度現在より指摘をみ記憶が朽を書く.

自ら破仏法の僧であることを認め. 本山へ. 謝恩をおすことを約す.

まさに恩僧の感あり.

年　月　日

件　名	西本暁道（八王子．常修寺）
日　時	52 年 3 月 12 日　10 時 50 分～ 13 時 00 分
場　所	本部文6応接．
担当者	秋谷ﾌﾐ．山崎ﾌﾐ．平沼
概　要	常修寺一法華講を新結成した件
指示事項	
関連事項	
関連資料	

			担当	

25